

授業科目：公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ	4年次	2単位	90時間	実習
-------------------	-----	-----	------	----

時間	項目	内容
90	公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ	実習要項参照
<p>目的：公衆衛生看護活動の基盤となる地域アセスメント（地域診断）の基礎的能力を習得する。また保健所における公衆衛生活動の実際を学ぶ。</p>		
<p>目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 選定した健康課題に関する必要な情報を多角的・継続的に収集する。 2. 必要な情報を判別し客観的に分析する。 3. 分析した情報を関連づけて解釈，判断，統合する。 4. 地域アセスメントの結果について分かりやすく説明する。 5. 地域アセスメントを通して習得した能力について説明する。 6. 保健所における公衆衛生活動の実際を理解し，その重要性を説明する。 		
<p>実務経験のある教員：</p>		
<p>先修科目：解剖学Ⅰ・Ⅱ，生理学Ⅰ・Ⅱ，関係法規，公衆衛生学，グループダイナミックス，保健統計Ⅰ・Ⅱ，疫学概論，疫学，保健医療福祉行政論Ⅰ・Ⅱ，公衆衛生看護学概論Ⅰ・Ⅱ，公衆衛生看護学方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ</p>		
<p>評価方法：実習評価表に基づき評価する。</p>		
<p>実習場所：新潟県十日町保健所，新潟県魚沼保健所，新潟県南魚沼保健所，新潟県長岡保健所，十日町市，津南町，魚沼市，南魚沼市，湯沢町、長岡市，小千谷市，見附市 等</p>		

授業科目：公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ	4年次	3単位	135時間	実習
-------------------	-----	-----	-------	----

時間	項目	内容
135	公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ	実習要項参照
<p>目的：人々の健康を支える公衆衛生看護活動における看護職の基礎的能力を習得する。</p>		
<p>目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習地域における公衆衛生看護管理の体制を説明する。 2. 実習地域における健康危機管理の実際について実践事例を通して説明する。 3. 地域で生活する人々を対象とした個別支援活動（家庭訪問・健康相談）のプロセスと専門的支援の思考・判断理解する。 4. 地域で生活する人々を対象とした集団支援活動（小集団への健康教育）を企画・実施・評価する。 5. 地域の健康課題を地域の人々や関係職種と組織的に解決する過程を理解する。 6. 地域の健康課題を解決するために保健福祉事業を企画・立案，実施，評価する過程（PDCAサイクル）を理解する。 7. 公衆衛生看護の役割について考察する。 8. 看護専門職としての立場から，自らの取り組みを評価し自己の課題を見出す。 9. 児童・生徒の健康課題を理解するとともに学校保健の実際を学ぶ。 		
<p>実務経験のある教員：</p>		

先修科目：解剖学Ⅰ・Ⅱ，生理学Ⅰ・Ⅱ，関係法規，公衆衛生学，グループダイナミックス，保健統計Ⅰ・Ⅱ，疫学概論，疫学，保健医療福祉行政論Ⅰ・Ⅱ，公衆衛生看護学概論Ⅰ・Ⅱ，公衆衛生看護学方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ

公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ－１（保健所・市町村）

時間	項目	内容
120	公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ－１	実習要項参照
<p>目的：地域の人々の健康と生活を支える公衆衛生看護活動における行政看護を実践するための基礎的能力を習得する。</p>		
<p>目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習地域における公衆衛生看護管理の体制を説明する。 2. 実習地域における健康危機管理の実際について実践事例を通して説明する。 3. 地域で生活する人々を対象とした個別支援活動（家庭訪問・健康相談）のプロセスと専門的支援の思考・判断を理解する。 4. 地域で生活する人々を対象とした集団支援活動（小集団への健康教育）を企画・実施・評価する。 5. 地域の健康課題を地域の人々や関係職種と組織的に解決する過程を理解する 6. 地域の健康課題を解決するために保健福祉事業を企画・立案，実施，評価する過程（PDCA サイクル）を理解する。 7. 公衆衛生看護の役割について考察する。 8. 看護専門職としての立場から，自らの取り組みを評価し自己の課題を見出す 		
<p>実務経験のある教員：</p>		
<p>評価方法：実習評価表に基づき評価する。</p>		
<p>実習場所：新潟県十日町保健所，新潟県魚沼保健所，新潟県南魚沼保健所，新潟県長岡保健所，十日町市，津南町，魚沼市，南魚沼市，湯沢町，長岡市，小千谷市，見附市 等</p>		

公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ－２（学校）

時間	項目	内容
7.5	公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ－２	実習要項参照
<p>目的：児童・生徒の健康課題を理解するとともに学校保健活動の実際を学ぶ。</p>		
<p>目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習校における児童・生徒の健康課題を理解する。 2. 児童・生徒の健康課題を組織的に解決する学校保健活動の体制を理解する。 3. 学校保健活動における養護教諭の役割について理解する。 		
<p>実務経験のある教員：</p>		
<p>評価方法：レポート</p>		
<p>実習場所：南魚沼市立小・中学校</p>		